

本高と県警、活力溢れる同窓会を開催

岐阜県警「本巢会」が発足

平成28年10月22日（土）

岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会は、本部のほかに、関東支部と名古屋支部の2支部から組織されています。また、かつて活動していた関西支部は平成25（2013）年に支部としては解散しましたが、関西圏として今なお活動しています。さらに、揖斐郡教職員支部など、かつては職能支部も存在しました。

そんな中、平成28年10月22日（土）に、岐阜県警本巢会が発足し、第1回目となる懇親会が午後6時より、新岐阜の堀蔵にて開催されました。岐阜県警は職員総数約4,000人を擁する組織ですが、そのうち約130人が本巣高等学校・本巣松陽高等学校の卒業生で占められています。

当日は、川瀬善忠同窓会長（昭和40年卒）、豊田文秀名誉会長（母校校長）、西尾侑一同窓会事務局職員・常任理事（平成16年卒）を来賓として迎えていただき、県警職員73名と合わせて76名が参加しました。なお参加者は、本年度退職を迎える方から、昨年度母校を卒業した方まで、幅広い年齢層の方々が参加してくださいました。

佐名康太岐阜南署長（昭和56年卒）の司会により、大野博本部総務室長（昭和50年卒）の挨拶で開会しました。続いて、来賓の3名からの挨拶があり、大江康成本部生活安全総務課長（昭和51年卒）による乾杯の発声があり、歓談へと移りました。

宴会中は、普段同じ職場で働く方々が「きみも本巣だったのか！」と、まさかのつながりを発見されている様子も多々見られるなど、大変盛り上がっていました。

3時間ほど経過したところで、内藤典夫揖斐署長（昭和52年卒）による中締め挨拶があり、西尾事務局職員・常任理事による万歳三唱で、盛会のうちにお開きとなりました。

岐阜県警以外にも、本高卒業生が多く所属する企業・団体があります。ぜひ今後は、そのようなところでも、本高の絆の再確認、業務の円滑化やビジネスチャンスに生かしていただければと考えています。



▲本高のつながりで楽しく飲食する参加者